

# 民主大宮

No.100  
2006年1月  
日本共産党大宮支部  
電話 (52) 2422  
FAX (52) 2471



日本共産党・金子卓議員

## 宮の郷工業団地に PCB廃棄物処理施設計画

日本共産党県議の調査で明らかに!

第四回定例議会の一般質問で日本共産党の金子卓議員は宮の郷工業団地への進出計画が明らかになったエコロジック・ジャパン(株)のPCB廃棄物処理施設問題を取りあげ、矢数市長に対し、「この計画をいつ知ったか、そしてどう対応したか質問しました。」

八月と十月にエコロジック・ジャパンの関係者が来訪

矢数市長は、「今年の八月と十月にエコロジック・ジャパンの関係者が来訪し事業計画書を県に提出する旨の事前説明があったと報告を受けた」と答えただけで、どう対応したかの答弁はありませんでした。(報告を受けただけで市長として何の対応もしなかったということか)

PCB廃棄物処理計画に対する市長の見解との質問には、国の基本計画について答弁、質問にまともな答えませんでした。金子議員は、事業計画概要書が出されたPCB廃棄物処理施設設置に対しては環境への影響、また宮の郷工業団地への優良企業の誘致の影響等を考え、きつぱりと反対すべきと考えますが、いかがでしょうか。矢数市長の同計画に対する見解をお聞きします」と明確に質問しました。こ

のようにはぐらかし答弁は全く不誠実です。

今後の市長の対応についての質問には、「県より意見を求められると思う。当市としては、広く情報を開示して、住民の意見を尊重し、適宜意見を付していく」と事前審査の事務手続きを説明するだけで、自らの判断を示しませんでした。

質問の最後の最後に「地元が反対すれば反対します」とやつと答えた矢数市長

金子議員は再質問で、「旧総和町町長がほとんどの議員が知らない早い時期に、議会でPCB廃棄物処理施設の設置反対を表明、日本車輛が旧総和町内での施設設置計画を断念するきつぱりになったと聞いている」と紹介、市長として、同計画に反対か賛成か答えるよう求めましたが明確な答弁はありませんでした。

質問制限時間の一分前に、金子議員の「住民が反対すれば市長は反対するののか」との端的な質問に、矢数市長はやつと「住民が反対すれば当然私も反対します」と答えました。

PCB廃棄物処理施設は、県から意見を求められる前に市長自らの政治判断で県と事業者にきつぱりと反対の意思を伝えるべきです。



【PCB】電気絶縁性・耐熱性に優れ、高圧トランスや電気機器などに使用。1968年カネミ油症事件で、その毒性が大きな社会問題となり、製造・輸入が禁止。環境中で分解しにくく、人体や生態系にたいして有害性がある残留性有機汚染物質。特定有害産業廃棄物に指定されている。

**第四回定例議会**

は十二月六日に開会、七日までに条例改正二十八件、病院関係の物品購入契約四件、その他十一件、補正予算九件、人事案件七件を審議しました。また七日には、常陸大宮市議会早期解散を求める代表・宇留野義昭氏から提出された、常陸大宮市議会早期解散を求める陳情を審

**PCB廃棄物を考える市民の集い**  
(参加費無料)

1月28日(土) 午後1時30分～3時30分  
大宮 東部コミュニティセンター

○講演 岩佐恵美さん (元・衆院(4期)参院(1期)議員)

主催 常陸大宮市議会 日本共産党議員団 常陸太田市議 日本共産党・宇野隆子 **どなたでも参加できます**

**議会終了後 矢数市長に申し入れ**

日本共産党市議団は第四回定例議会終了後、矢数市長に会い、次の内容の申し入れをおこないました。

新年度の国保税は現行の不均一課税を継続し税率の引き上げをしないこと。介護保険料は現在より値上げせず、低

査するために陳情審査特別委員会(旧町村から各五人選出し二十五人で構成、委員長は岡崎不忘議員)が設置されました。同時に、定数問題を審議する議員定数調査特別委員会(旧町村から各五人選出し二十五人で構成、委員長は河野洪勲議員)も設置されました。金子議員は議員定数調査特別委員会の委員になりました。

二十一日の議会最終日、請願陳情についての各常任委員会審査報告がありました。

【生活文教常任委員会】  
「少人数学級」の導入によりきめ細やかなゆきとどいた教育の実現を求める請願…採択  
【義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願…採択】  
【経済常任委員会】  
□地域農林水産業活性化を図るための、地産地消自治体宣言を求める陳情…採択  
□建設受任委員会  
□常陸大宮市富岡地内市道二二五一号線他道路改良に

所得者の利用料の市独自の減免制度をつくること(制度は介護保険会計の別枠とする)。地方の医師確保が厳しい状況に なっているが、常陸大宮済生会病院は十診療科そろい二十四時間体制による救急医療ができる診療体制で開設すること。また、PCB廃棄物処理施設計画については早急に反対の意思を県・事業者に伝えること。

関する請願書…採択  
いずれの請願陳情も常任委員会の報告どおり本会議で全会一致採択しました。

「議会解散を求める陳情」は特別委員会に継続して審査されます

「常陸大宮市議会早期解散を求める陳情」を審査するための「陳情審査特別委員会」は十六日に開催、今後も継続して審査されることになりました。同時に設置された、議会定数調査特別委員会「は十九日開催、継続して調査することになりました。

**3月7日から 第1回定例議会**

第一回定例議会は三月七日から二十四日まで予定されています。みなさんの傍聴をお待ちしています。請願・陳情は二月二十八日までお願いします。

# 市内循環交通システムについて質問

## すべての市民が利用できる 新しい公共交通

金子議員は一般質問で、市内循環交通システムについて取りあげ、固定されたルートを運行する従来のバスと比較して、新しい公共交通システムであるデマンド交通システムについて市担当部長の見解を質問しました。

### デマンド交通システムによる 利便性・住民サービスの向上

「デマンド交通システムとは、固定ルートを走る従来の路線バスや巡回バスとは違い、電話予約に合わせて、自宅や外出先まで車が迎えに来てくれて、地域内の行きたいところまで運んでくれる新しい公共交通サービスです。人に乗り物をあわせるという

今までは百八十度違った発想からつまれたものです。車両はバスではなく、ジャンボタクシーとよばれる十人乗りのワゴン車等が使われ、全国的には一回一〇〇円から三〇〇円の料金にならなっています。高齢者が、外出・移動したくても、今までは、バスの停留所までが遠い」「買い物した荷物を持って歩くのが大変」ということでバス利用を敬遠していた方も気軽に利用できる大変便利なサービスです。また検討されている市内循環交通システムは、すべての市民が利用可能なシステムにする必要があります。山間過疎地域の多い本市において、バスではカバーしきれない地域まで幅広くカバーできる同システムは最適と考えるものです。

### 同システムによる 財政支出の削減



福島県では、新しい地域交通の手段のひとつとしてデマンド交通システムをあげ、特徴として、ドアツードアの利便性のほか、地方公共団体の負担軽減をあげています。国土交通省東北運輸局は、「E-Taxi(エタクシー)を活用したデマンド型乗り合いタクシー」というパンフレットをつくっており、その中で福島県小高町の例として、「コミュニティバス導入検討時の試算額の三分の一の費用で運行することができました」と紹介しています。

答弁 既存の交通の整理統合を図ることで、全体としては経費の抑制・削減が可能であると

想定される。

### 同システムによる地域活性化

デマンド交通システムを導入した地域の多くは商工会が運行主体となつています。それは、お店の軒先まで地域のお客様を連れてこられ、店先から自宅への移動が可能ですから、荷物を持つ移動も少なくて済み、お客様は安心していろいろな買い物ができるようになります。利用チケットを提供して、販売促進を図っている商



店もあると聞いています。商店街への集客、中心市街地のにぎわいの創出など、デマンド交通システムは、地域の活性化にも役立つと考えるものです。

答弁 より利用者の掘り起し等ができるデマンド方式が、地域活性化により寄与できるシステムと認識している。

### 同システムによる 高齢者の「行動変容」



「高齢社会において、生活習慣病、要介護高齢者、寝たきりなどの増加と医療費増大の真の歯止め策は、住民一人ひとりが、

知識と技能を受容し、それを実行・継続する生活習慣化、いわゆる「行動変容」があつて、効果が期待できる。その意味で住民の行動変容がなにより必要である。これは、地域における健康・体力づくり推進委員会報告」で言われていることです。デマンド交通システムの副次的な効果として、高齢者の外出機会の増加による健康の促進があります。「乗り合いで、多少遠回りすることもあるけど、その分、おしゃべりしたり、新たな風景の発見があつたりして楽しい」との声も寄せられ、病院ばかりでなく、商店・スーパー・美容院など高齢者の

## 政権党である自民党の「新憲法草案」に対する市長の見解を質問

金子議員は、憲法改定問題について市長の見解を質問しました。

自民党は十一月二十八日に「新憲法草案」を決定しました。改憲案は、前文から、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないようにすることを

決意」とした文言を削除し、侵略戦争の反省や平和的生存権の規定を消し去っています。改憲案の最大のねらいである九条については、「戦争放棄」の一項はそのままにしたものの、「戦力不保持」「交戦権否認」を定めた二項を削除し、海外での武力行使に対する「歯止め」をはずしまし

た。そのうえで、九条の二を新設し、「自衛軍の保持」を明記。自衛軍の活動として、「国際協調」のための活動、「公の秩序維持」の活動などをあげ、海外派兵を可能にしています。まさに「戦争をしない国」から、地球上どこでも戦争をする国」への重大な変節です。

金子議員は、「先の議会で市長は、特定政党の素案なので市長としてのコメントは控えさせていただきます」との答弁でしたが、今回は、政権党が初めてまとめた全条項にわたる改憲案です」と再度市長の見解を求めました。しかし、今回も前議会と同様の

答弁でした。

### その他の一般質問項目

施設の管理について  
浄化槽法第十一條の規定による定期検査の結果ほか  
改定介護保険と健康常陸大宮21計画について  
新予防給付・地域支援事業と老人保険事業、健康常陸大宮21計画での循環器疾患・糖尿病対策メタボリックシンドロームの概念の同計画への導入・該当者の実態など。

外出先が確実に多彩になつていくと聞いています。

答弁 自分自身で外出ができることが期待され、行動範囲が広がることになれば、行動変容は変わつてくると認識している。

運行開始時期は四月を予定

**日本共産党のホームページ**  
<http://www.icp.or.jp/>  
 北部地区委員会のホームページ  
<http://www.icp-net.jp/ibahoku/>  
 金子議員のホームページ  
<http://www.icp-net.jp/kaneko-s/>  
 リニューアルしました

こと書  
ほんとうを遠慮なく書いてるね!  
**しんぶん 赤旗**  
 日刊 月2,900円  
 日曜版 月800円  
 先達 申請員  
 金子卓 (52)2422

金子議員は、さらに、「今年五月に市内循環交通システム基本計画策定を業者委託し、庁内の検討会で十分な検討がされ、現在では方法もまとまつていていると思います。市執行部としてどのような交通システムを考えているのかお聞きします」と、検討委員会でも市執行部の考えを質問しました。

総務部長は、「現在、検討委員会に検討をお願いしているところなので、答弁は差し控えさせていただきます」と、今後「デマンド交通システムも含めて、いくつかのパターンの中で検討を進めていきたい」と答えました。

また、試行運転も含めての運行開始の時期についての質問に、「四月に開始できるよう準備を進めている」と答えました。